

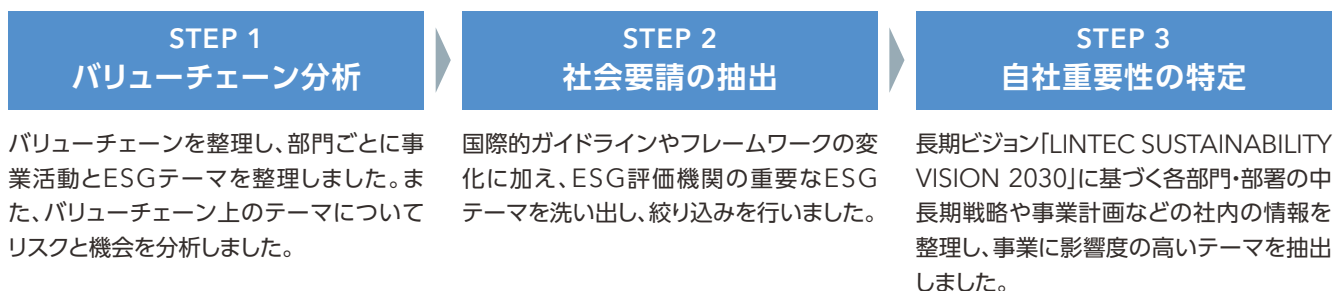
# マテリアリティ(重要課題)とKPI

リンテックグループがサステナブルな社会の実現に貢献するために優先的に取り組む課題をマテリアリティとして特定し、その評価指標(KPI)も定めて進捗を確認しています。

	マテリアリティ	取り組むテーマ	KPI	
			主要項目	
事業全体	事業面での貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イノベーションによる企業体質の強靱化</li> <li>● 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出</li> </ul>	● 開発品売上比率(20%、2030年)	
			● 特許出願・保有特許件数	
環境	持続可能な地球環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動への対応</li> <li>● 循環型社会の実現</li> <li>● 持続可能な原材料調達</li> <li>● 生物多様性の保全</li> </ul>	● CO <sub>2</sub> 排出量削減 (2030年グループとして、2013年度比50%以上削減)	
			● 廃棄物の最終埋立比率(1%以下)	
			● 原材料取引先アンケート回答率	
社会	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権デューデリジェンス</li> <li>● 労働安全衛生への対応</li> <li>● ダイバーシティの推進</li> <li>● 働き方改革の推進</li> </ul>	● ハラスメント相談件数	
			● 労働災害度数率	
			● 労働災害強度率	
			● 女性従業員比率	
			● 男性の育児休業取得率	
バリューチェーンマネジメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様第一主義の徹底</li> <li>● 品質、コスト、顧客満足度の向上</li> </ul>	● CSR調査の対応数		
		● 品質事故件数比率		
ステークホルダーとのコミュニケーション強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティとの共生</li> </ul>	● 見学受入件数		
ガバナンス	グループ全体のガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織統治</li> <li>● 公正な事業活動</li> </ul>	● 取締役会出席率	
			● 監査等委員会出席率	
			● リーガルニュースの定期発行	

より詳しい情報は下記サステナビリティサイトをご覧ください。  
<https://www.lintec.co.jp/sustainability/philosophy/>

## マテリアリティの見直しプロセス



	実績	対象範囲	関連するSDGs
	21.4%*	リンテック(株)	
	特許出願件数:260件*(2022年度) 保有特許数:2,757件*(2023年3月末時点)	リンテック(株)	
	39.7%	リンテック(株) 国内外グループ会社	
	0.36%	リンテック(株)の本社および 10生産拠点、研究所、東京リンテック加工(株)	
	2022年度はアンケート未実施 ※2021年度に実施したアンケート結果に対し11件*の改善を要求	リンテック(株)	
	2件*	リンテック(株) 国内グループ会社	
	0.76*	リンテック(株)の10生産拠点、 研究所、東京リンテック加工(株)	
	0.0142*	リンテック(株)の10生産拠点、 研究所、東京リンテック加工(株)	
	14.4%*	リンテック(株)	
	59.7%*	リンテック(株)	
	181件*	リンテック(株)	
	31%* 2010年度件数(49件)に対し、2022年度件数(15件)の比率	リンテック(株)(伊奈テクノロジーセンターを除く) 東京リンテック加工(株)、湘南リンテック加工(株)	
	30件*	リンテック(株) 東京リンテック加工(株)	
	100%	リンテック(株)	
	100%	リンテック(株)	
	6回	リンテック(株)	

#### STEP 4 マテリアリティの特定

社会要請と自社重要性を照合したマップ分布から、重要性判断の領域を検討してマテリアリティを特定しました。

#### STEP 5 主要な評価指標の設定

特定したマテリアリティを踏まえ、活動の評価指標を設定し、運用に向けて進めていきます。